

TSE:9531



2021年度（2022年3月期）
第2四半期決算説明会

2021年10月28日





01

2021年度 第2四半期決算実績概要

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. 

2021年度2Q実績 (連結) (2021.4.1 - 2021.9.30)

対前年同期実績

3

ポイント 増収増益

(+/▲は利益に対する影響を示す, 億円)

売上高	+446	北米上流事業会社の連結子会社化による売上増 等。
営業費用	▲508	原油価格上昇の影響 等。
営業利益	▲63	フレーム影響に伴う都市ガス単価差による租利減 等。
特別損益	+119	当期 28 : (特別利益) 投資有価証券売却益+28 前期 ▲91 : (特別損失) 減損損失▲64、投資有価証券評価損▲46、(特別利益) 負ののれん発生益+20

		(単位: 億円)						
		2021年度2Q	2020年度2Q	増減	%	経済フレーム	2021年度2Q	2020年度2Q
都市ガス販売量 (百万m ³ , 45MJ)		5,719	5,569	150	2.7			
電力販売量 (百万kWh)		13,245	11,801	1,444	12.2	為替レート(¥/\$)	109.81 (+2.88)	106.93
内訳	小売 (百万kWh, 需要端)	4,949	4,885	64	1.3	原油価格(\$/bbl)	70.29 (+33.82)	36.47
	卸他 (百万kWh)	8,296	6,917	1,379	19.9	平均気温 (°C)	21.5 (+0.2)	21.3
売上高		8,726	8,280	446	5.4			
営業費用		8,272	7,764	508	6.6			
営業利益		453	516	▲63	▲12.2			
セグメント利益 (営業利益+持分法損益)		474	513	▲39	▲7.7			
経常利益 …①		463	497	▲34	▲6.9			
特別損益		28	▲91	▲119	—	年金	2021年度2Q	
親会社株主に帰属する当期純利益		318	278	40	14.5	運用利回り ※コスト控除後		1.73%
補正項目	気温影響 …②	▲31	0	▲31	—	期末資産 (億円)		2,640
	スライドタイムラグ …③ (都市ガス+LNG販売)	▲309 (▲278+▲31)	84 (64+20)	▲393 (▲342+▲51)	—			
	年金数理差異償却額 …④	54	4	50	—			
補正経常利益 …①-②+③+④		749	409	340	83.1			

※2021年3月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2021年3月期第2四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

<期待運用収益率: 2%>

Copyright © TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

第2四半期の業績は「増収増益」となりました。

売上高は、+446億円増となりました。これは、「海外セグメント」において、昨年度第3四半期に連結子会社化した北米上流事業会社が、今年度は上期から売上貢献していることが主な要因です。

営業費用は、+508億円増となりました。これは、「ガスセグメント」における原油価格上昇の影響等が主な要因です。

この結果、営業利益は▲63億円減、経常利益は▲34億円減とそれぞれ減益したものの、特別損益において、昨年度は海外事業に関わる減損損失、キャスルトン・リソーシズ社の子会社化に伴う投資有価証券評価損等を合計▲91億円計上し、今年度は有価証券売却益+28億円を計上したことから、+119億円増となりました。

これらにより、親会社株主に帰属する当期純利益は、+40億円増の318億円となりました。

2021年度2Q度実績 (連結) ガス販売量・件数

対前年同期実績

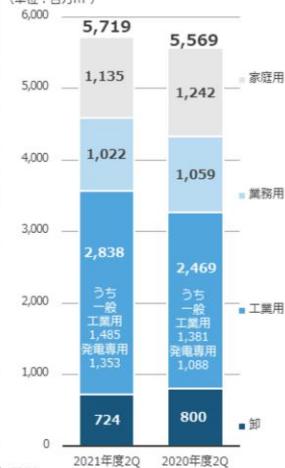
4

都市ガス販売量

+150百万m³
(+2.7%)の増加
うち気温影響
▲70百万m³、▲1.3%の減少

■家庭用	▲107百万m ³ (▲8.6%)
気温要因	▲39百万m ³
日数影響	▲2百万m ³
お客さま件数	▲30百万m ³
その他	▲35百万m ³
■業務用	▲37百万m ³ (▲3.4%)
気温要因	▲31百万m ³
日数影響	+2百万m ³
お客さま件数	▲1百万m ³
その他	▲6百万m ³
■工業用	+369百万m ³ (+14.9%)
一般工業用	+104百万m ³
発電専用	+265百万m ³
■卸	▲76百万m ³ (▲9.5%)
気温要因	±0百万m ³
その他	▲76百万m ³
	卸供給先の需要減等

(単位:百万m³) ※各項目は四捨五入して表示



件数、LNG販売量、平均気温

	2021年度2Q実績	2020年度2Q実績	増減
小売お客さま件数 (万件) ※1	876.2	897.5	▲21.3 (▲2.4%)
取付メーター数 (万件) ※2	1,213.2	1,200.5	+12.7 (+1.1%)
LNG販売量 (千t)	475	513	▲38 (▲7.4%)
平均気温 (℃)	21.5	21.3	+0.2

※1 ガス小売事業者としてのガス料金請求対象件数

※2 休止中・閉鎖中・他社小売を含む設置事業者としてのメーター取付数

販売・自家使用量 (百万m³)

	2021年度2Q実績	2020年度2Q実績	増減
都市ガス販売量	5,719	5,569	+150 (+2.7%)
トーリングによるガス自家使用量	1,173	1,536	▲363 (▲23.6%)
LNG販売量 (m ³ 換算)	594	642	▲48 (▲7.4%)
合計	7,486	7,747	▲261 (▲3.4%)

当社 (連結) 都市ガス小売お客さま件数推移 (万件)

	2017.3	2017.6	2017.9	2017.12	2018.3	2018.6	2018.9	2018.12	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	2021.9
件数 (増減)	1,026.9	1,031.4	1,028.9	1,029.6	1,020.9	1,018.9	1,008.9	998.2	982.1	960.7	940.5	925.9	912.9	904.4	897.5	893.5	886.3	881.8	876.2
	(-)	(+4.5)	(▲2.5)	(+0.7)	(▲8.7)	(▲2.0)	(▲10.0)	(▲10.7)	(▲16.1)	(▲21.4)	(▲20.2)	(▲14.6)	(▲13.0)	(▲8.5)	(▲6.9)	(▲4.0)	(▲7.2)	(▲4.5)	(▲5.6)

小売事業自由化 (2017.4)

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved.



ガス販売量についてご説明いたします。

第2四半期のガス販売量は、+2.7%増となりました。

4月の高気温等、気温影響により家庭用で▲8.6%減少したものの、工業用で+14.9%増となりました。これは主に発電専用の顧客獲得によるものです。

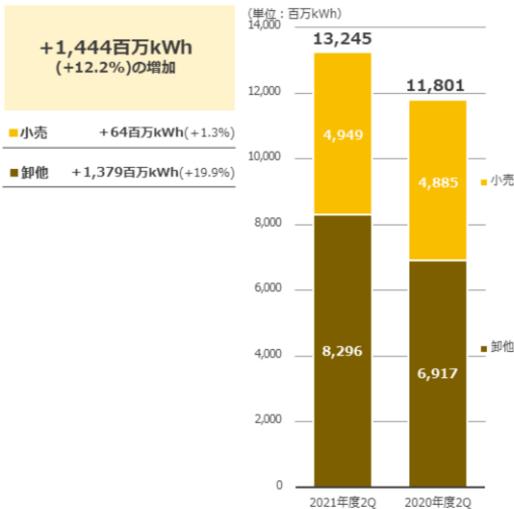
新型コロナ影響は、家庭用・業務用・卸における「その他」に、一部含まれており、家庭用においては、巣ごもりによる需要増が減少しました。また、業務用においても、緊急事態宣言延長等により、主に飲食店・ホテル等での需要の回復が見られず、販売量は減少しました。

2021年度2Q実績 (連結) 電力販売量・件数

対前年同期実績

5

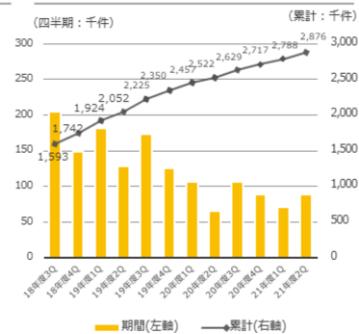
電力販売量



※各項目は四捨五入して表示

小売件数実績

※小売件数 = 電力料金請求対象件数



「キャンペーン」実施期間

2020年度	2021年度
夏：2020/6/2～2020/7/20	夏：2021/6/23～2021/9/30
2020/7/30～2020/10/26	
秋：2020/10/30～2020/12/25	
冬：2021/1/7～2021/2/22	

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

電力販売量についてご説明いたします。

第2四半期の電力販売量は、全体では+12.2%増となりました。小売においては、収益認識基準変更による販売量減があったものの、契約件数の増加により、+1.3%増となりました。卸他については、新電力等への販売増加により+19.9%増となりました。

2021年度2Q実績 (セグメント別) 売上高・利益

対前年同期実績

6

(単位: 億円)

	売上高				セグメント利益 (営業利益+持分法損益)			
	2021年度 2Q実績	2020年度 2Q実績	増減	%	2021年度 2Q実績	2020年度 2Q実績	増減	%
ガス	5,618	5,440	178	3.3	344	478	▲134	▲28.1
(都市ガス)	4,454	4,521	▲67	▲1.5	74	479	▲405	▲84.5
(LNG販売)	704	759	▲55	▲7.2	9	0	9	—
電力	1,937	1,955	▲18	▲0.9	82	131	▲49	▲37.8
海外	378	191	187	97.2	105	17	88	509.9
(持分法損益)	—	—	—	—	16	▲7	23	—
エネルギー関連	1,477	1,541	▲64	▲4.1	67	57	10	18.8
(エネルギーソリューション)	634	636	▲2	▲0.3	27	21	6	30.0
不動産 (持分法損益含む)	284	229	55	24.2	86	42	44	102.5
その他 (持分法損益含む)	485	524	▲39	▲7.4	7	15	▲8	▲48.9
調整額	▲1,456	▲1,602	146	—	▲218	▲228	10	—
セグメント合計額	8,726	8,280	446	5.4	474	513	▲39	▲7.7
(持分法損益)	—	—	—	—	21	▲2	23	—

[注] ・セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。

・「ガス」には、都市ガス、液化石油ガス、産業ガス、LNG販売、トレーディング等を含みます。「エネルギー関連」には、エネルギーソリューション、ガス器具、ガス工事、建設、クレジット等を含みます。「その他」には、情報処理サービス、船務等を含みます。

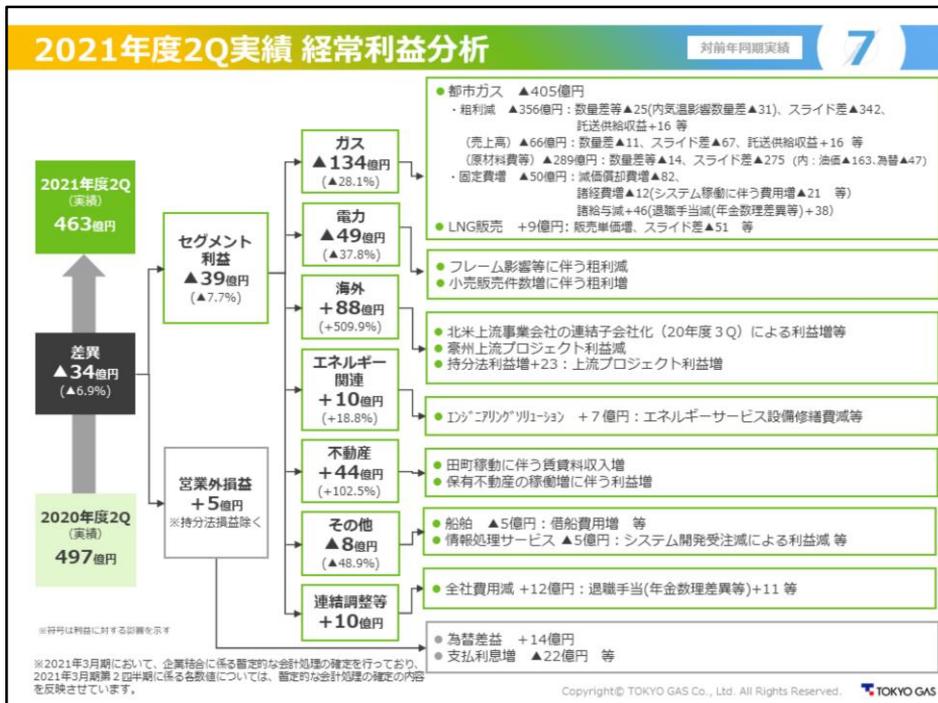
・セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。

※2021年3月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2021年3月期第2四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

セグメント別の売上高、および営業利益に持分法損益を加えたセグメント利益とその増減を記載しております。

セグメント利益については、▲39億円減となりました。「海外セグメント」における+88億円増が全体利益を押し上げたものの、「ガスセグメント」における▲134億円減により、全体で減益となりました。



ガスセグメントの▲134億円の減益は、原料価格の変動に伴うスライドタイムラグの悪化による粗利減、減価償却費増等による固定費増が主な要因です。

電力セグメントは、小売り件数増等による増益があったものの、フレーム影響等による粗利減により、▲49億円の減益となりました。

海外セグメントは、油価が前年度と比べて低く推移したことに伴う上流プロジェクトの利益減等があったものの、北米上流事業会社の連結化等による増益により、+88億円の増益となりました。

不動産セグメントは、田町稼働にともなう賃貸料収入増等による利益増により、+44億円の増益となりました。



02

2021年度通期見通し

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. 

2021年度見通し(連結) (2021.4.1 - 2022.3.31)

9

ポイント 増収増益(対前回見通し)

(+/▲は利益に対する影響を示す, 億円)

	対前回 見通し	
売上高	+180	原料費調整に伴う都市ガス単価増、都市ガス販売量増 等。
営業費用	▲100	原油価格上昇の影響、都市ガス販売量増 等。
営業利益	+80	海外上流プロジェクト(泰州・北米)による利益増 等。
特別増益	+28	今回 28 : (特別利益) 投資有価証券売却益+28 前回 0

	(単位: 億円)				経済フレーム							
	見通し	前回 見通し	増減	%	前年度 実績	増減	%	見通し	前回 見通し	前年度 実績		
都市ガス販売量(百万m ³ , 45M)	12,382	12,276	106	0.9	12,990	▲608	▲4.7	為替レート (¥/\$)	109.91 (+0.03)	109.88	106.10	
電力販売量(百万kWh)	26,964	27,579	▲615	▲2.2	24,761	2,203	8.9	原油価格 (\$/bbl)	70.15 (+4.67)	65.48	43.35	
売上高	19,700	19,520	180	0.9	17,651	2,049	11.6	平均気温(°C)	16.3 (▲0.1)	16.4	16.5	
営業費用	18,700	18,600	100	0.5	16,874	1,826	10.8	*3Q以降: 原油価格70\$/bbl、為替レート110円/\$				
営業利益	1,000	920	80	8.7	776	224	28.7	年金	2020 年度	2019 年度	2018 年度	
セグメント利益 (営業利益+持分法損益)	1,037	948	89	9.4	791	246	31.0	運用利回り ※コスト控除後	4.94%	0.33%	1.65%	
経常利益①	930	830	100	12.0	705	225	31.9	割引 率	年金分 一時 金分	0.318%	0.264%	0.156%
特別増益	28	0	28	—	▲43	71	—	期末資産 (億円)	2,630	2,590	2,670	
親会社株主に帰属する当期純利益	670	600	70	11.7	495	175	35.3	<期待運用収益率: 2%>				
気象影響②	▲31	▲39	8	—	▲54	23	—					
補正項目	▲242 (▲214+ ▲28)	▲248 (▲224+ ▲24)	6 (10+▲4)	—	▲121 (▲120+ ▲1)	▲121 (▲94+ ▲27)	—					
年金数理差異繰上③	111	111	0	—	8	103	—					
補正経常利益①-②+③	1,092	1,006	86	8.5	872	220	25.2					

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

2021年度通期につきましては、「増収増益」と見通しております。見通しの前提となる10月以降の経済フレームは、原油価格については1バレル65ドルから70ドルに変更しております。為替レートについては、110円から変更はありません。

売上高は+180億円増と見通しております。これは、「ガスセグメント」における、原料費調整に伴う都市ガス単価増、都市ガス販売量増等が主な要因です。

営業費用は+100億円増と見通しております。これも原油価格上昇の影響、都市ガス販売量増等が主な要因です。

この結果、営業利益は+80億円増、経常利益は+100億円増となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、+70億円増の670億円と見通しております。

2021年度見通し (連結) ガス販売量・件数

10

都市ガス販売量

※各項目は四捨五入して表示

対前回見通し

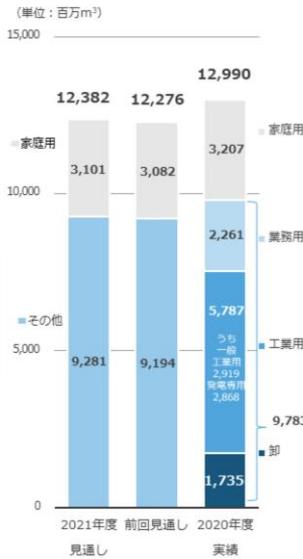
+106百万m³
(+0.9%)の増加
うち気温影響
▲1百万m³、▲0.0%の減少

■ 家庭用 +19百万m³(+0.6%)
■ その他 +87百万m³(+0.9%)

対前年実績

▲608百万m³
(▲4.7%)の減少
うち気温影響
+41百万m³、+0.3%の増加

■ 家庭用 ▲106百万m³(▲3.3%)
■ その他 ▲502百万m³(▲5.1%)



件数、LNG販売量、平均気温

	見通し	前回見通し	増減	前年度実績	増減
取付メーター数 (万件) ^{※1}	1,221.3	1,221.3	0	1,208.3	+13.0 (+1.1%)
LNG販売量 (千t)	1,151	1,146	+5 (+0.5%)	1,103	+48 (+4.4%)
平均気温 (℃)	16.3	16.4	▲0.1	16.5	▲0.2

※1 休止中・隠性中・他社小売分を含む得替事業者としてのメーター取付数

販売・自家使用量 (百万m³)

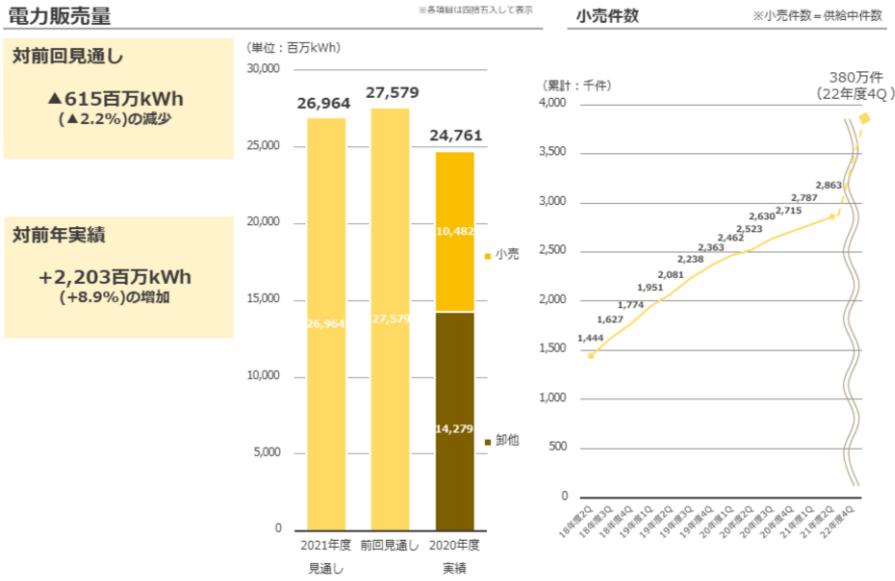
	見通し	前回見通し	増減	前年度実績	増減
都市ガス販売量	12,382	12,276	+106 (+0.9%)	12,990	▲608 (▲4.7%)
トーリングによるガス自家使用量	2,492	3,009	▲517 (▲17.2%)	3,208	▲716 (▲22.3%)
LNG販売量 (m ³ 換算)	1,439	1,432	+7 (+0.5%)	1,379	+60 (+4.4%)
合計	16,313	16,717	▲404 (▲2.4%)	17,577	▲1,264 (▲7.2%)

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

ガス販売量は、前回見通しとの対比で+0.9%増を見込んでいます。主に発電専用のお客さまにおける稼働増等、工業用における販売量増を見込んでおります。

2021年度見通し (連結) 電力販売量・件数

11



電力販売量についてご説明いたします。

電力販売量は、前回見通しとの対比で▲2.2%減を見通しており、主に卸他の販売量減を見込んでおります。

2021年度見通し (セグメント別) 売上高・利益

対前回見通し

12

(単位: 億円)

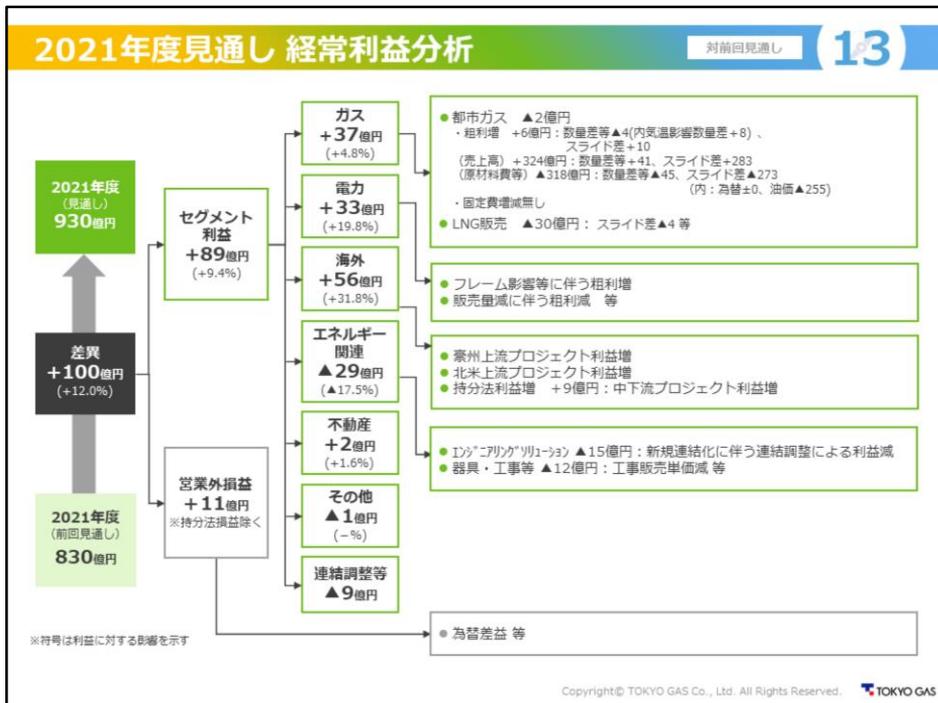
	売上高				セグメント利益 (営業利益 + 持分法損益)			
	見通し	前回見通し	増減	%	見通し	前回見通し	増減	%
ガス	12,740	12,615	125	1.0	805	768	37	4.8
(都市ガス)	10,650	10,326	324	3.1	704	706	▲2	▲0.4
(LNG販売)	1,642	1,843	▲201	▲10.9	▲1	29	▲30	—
電力	4,299	4,286	13	0.3	200	167	33	19.8
海外	816	789	27	3.4	232	176	56	31.8
(持分法損益)	—	—	—	—	27	18	9	—
エネルギー関連	3,159	3,356	▲197	▲5.9	137	166	▲29	▲17.5
(「I」が「E」が「P」が「L」が「I」が「O」)	1,250	1,358	▲108	▲7.9	26	41	▲15	▲37.3
不動産 (持分法損益含む)	565	578	▲13	▲2.2	129	127	2	1.6
その他 (持分法損益含む)	1,023	996	27	2.7	▲2	▲1	▲1	—
調整額	▲2,903	▲3,100	197	—	▲464	▲455	▲9	—
セグメント合計額	19,700	19,520	180	0.9	1,037	948	89	9.4
(持分法損益)	—	—	—	—	37	27	10	34.4

[注] ・セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
 ・「ガス」には、都市ガス、液化石油ガス、産業ガス、LNG販売、トレーディング等を含みます。「エネルギー関連」には、「I」が「E」が「P」が「L」が「I」が「O」、ガス器具、ガス工事、建設、クレジット等を含みます。「その他」には、情報処理サービス、船舶等を含みます。
 ・セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

セグメント別の売上高および利益の見通しと、前回見通しに対する増減を記載しております。

セグメント利益は前回見通しに対して+ 89億円増と見通しております。



セグメント利益の主な増減要因について、説明いたします。

ガスセグメントは、都市ガス、LNG販売は減益となるものの、トレーディング等、それら以外の事業により+37億円の増益を見通しています。

トレーディングについては、「ティージーグローバルトレーディング社」を通じて、取引量を拡大するとともに、足下のLNG市場の価格変動に適切に対応することで増益を見込んでおりますが、今後の取引に影響があるため、具体的な取引内容や量、利益額に関しては、開示を控えさせていただきます。

電力セグメントは、主にフレーム影響に伴う粗利増により、+33億円の増益を見通しています。

海外セグメントでは、フレーム変更に伴う豪州・北米上流プロジェクトの利益増等により、+56億円の増益を見通しています。

2021年度見通し (セグメント別) 売上高・利益

対前年度実績

14

(単位: 億円)

	売上高				セグメント利益 (営業利益 + 持分法損益)			
	見通し	前年度実績	増減	%	見通し	前年度実績	増減	%
ガス	12,740	11,467	1,273	11.1	805	884	▲79	▲9.0
(都市ガス)	10,650	9,677	973	10.1	704	956	▲252	▲26.4
(LNG販売)	1,642	1,394	248	17.8	▲1	▲74	73	—
電力	4,299	3,959	340	8.6	200	86	114	130.0
海外	816	459	357	77.6	232	38	194	495.5
(持分法損益)	—	—	—	—	27	4	23	456.4
エネルギー関連	3,159	3,394	▲235	▲6.9	137	170	▲33	▲19.6
(エネルギーソリューション)	1,250	1,397	▲147	▲10.5	26	66	▲40	▲60.6
不動産 (持分法損益含む)	565	484	81	16.7	129	75	54	71.0
その他 (持分法損益含む)	1,023	1,104	▲81	▲7.4	▲2	38	▲40	—
調整額	▲2,903	▲3,218	315	—	▲464	▲502	38	—
セグメント合計額	19,700	17,651	2,049	11.6	1,037	791	246	31.0
(持分法損益)	—	—	—	—	37	14	23	153.3

[注] ・セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
 ・「ガス」には、都市ガス、液化石油ガス、産業ガス、LNG販売、トレーディング等を含みます。「エネルギー関連」には、エネルギーソリューション、ガス器具、ガス工事、建設、クレジット等を含みます。「その他」には、情報処理サービス、船舶等を含みます。
 ・セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。

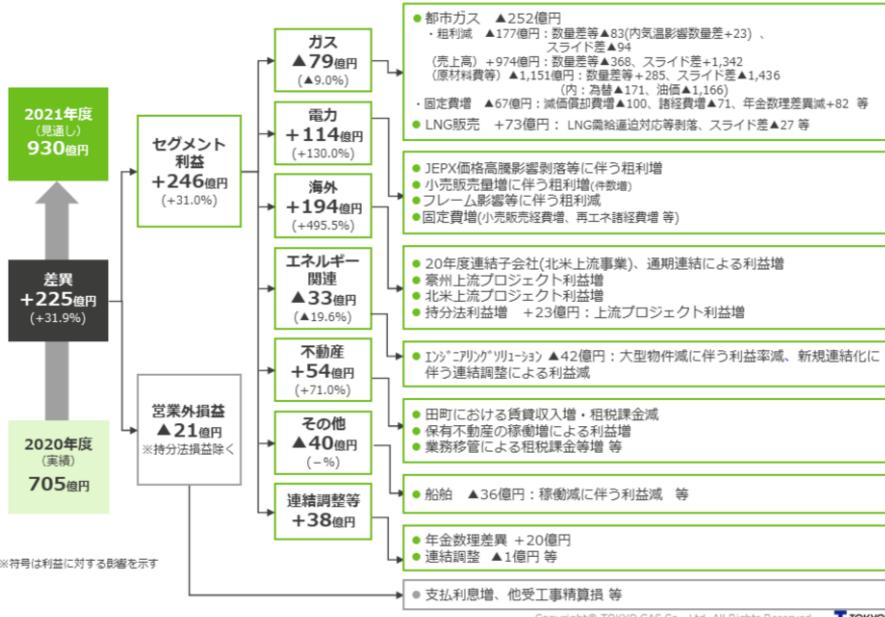
Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

前年度実績との比較、主な増減要因について記載しております。セグメント利益は、対前年 + 246 億円増と見通しております。

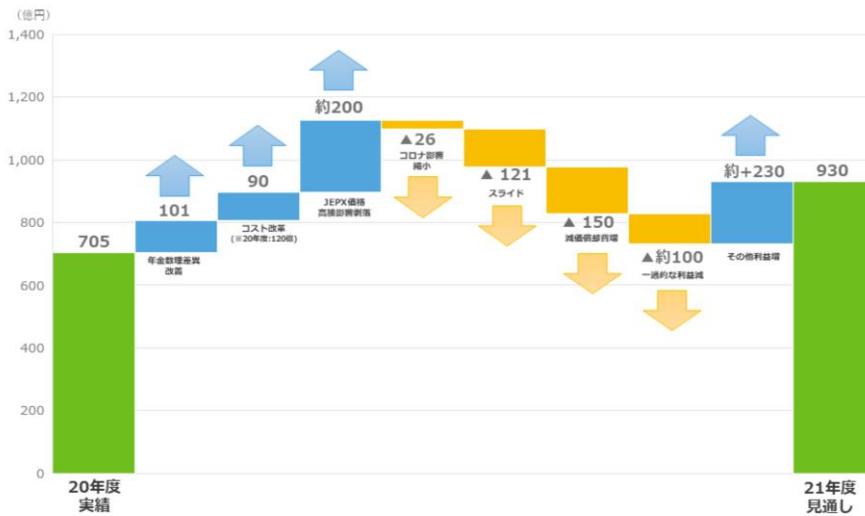
2021年度見通し 経常利益分析

対前年度実績

15



前年度経常利益からの変化要素



前年度経常利益からの主な変化要素ごとの、利益増減見通しを図示しております。

2021年度見通し（連結）キャッシュ・フローの使途（設備投資と投融資）

17

(単位: 億円)

	見通し	主な件名	前回見通し	増減	%	前年度実績	増減	%
ガス	1,330	製造設備 89 (▲15) : その他製造設備等 供給設備 861 (▲11) : 需要開発等 業務設備等 379 (+16) : システム関連等	1,340	▲10	▲0.8	1,490	▲160	▲10.8
設備	149	国内再エネ等	135	14	10.2	145	4	2.9
海外	649	上流(豪州・北米)、海外再エネ等	587	62	10.6	488	161	32.9
エネルギー関連	237	TGESエネルギーサービス事業等	237	0	▲0.3	155	82	52.4
投資	119	不動産賃貸事業、建物改修等	184	▲65	▲35.1	173	▲54	▲31.0
その他	16		22	▲6	▲27.3	43	▲27	▲62.7
調整額	▲42		▲48	6	—	▲33	▲9	—
計	2,460		2,460	0	—	2,464	▲4	▲0.2
ガス	0		0	0	—	0	0	—
投資	69	国内再エネ、海外電力小売企業への出資等	69	0	—	601	▲532	▲88.5
海外	296	上流(豪州)、中下流(アジア)、海外再エネ等	302	▲6	▲1.9	142	154	108.4
エネルギー関連	78	TGESエンジニアリング事業等	82	▲4	▲4.8	102	▲24	▲23.5
回収含まず	12		12	0	—	3	9	300.0
その他(無件名含む)	726		719	7	0.9	5	721	—
計	1,184		1,184	0	—	853	331	38.8
設備投資・投融資(回収含まず)合計	3,644		3,644	0	—	3,317	327	9.8
回収計	35		33	2	6.5	32	3	8.9
設備投資・投融資(相殺後)合計	3,608		3,610	▲2	▲0.1	3,285	323	9.9

Copyright © TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

2021年度におけるキャッシュフローの使途の見通しをお示ししております。

主要計数表（連結）

18

(単位: 億円)

	2021年度見通し	2020年度実績	2019年度実績	
総資産(a)	29,200	27,383	25,399	
自己資本(b)	12,090	11,538	11,477	
自己資本比率(b)/(a)	41.4%	42.1%	45.2%	
有利子負債(c)	12,720	10,659	9,050	
D/Eレシオ(c)/(b)	1.05	0.92	0.79	
親会社株主に帰属する当期純利益(d)	670	495	432	
1株当たり当期純利益 (円/株)	152.33	112.26	97.86	
減価償却(e)	1,950	1,798	1,698	
営業キャッシュ・フロー(d)+(e)	2,620	2,293	2,131	
投資	設備投資	2,460	2,464	2,270
	投融資 (回収含まず)	1,184	853	598
	計	3,644	3,317	2,868
ROA (d)/(a)	2.4%	1.9%	1.7%	
ROE (d)/(b)	5.7%	4.3%	3.8%	
WACC	2.4%	2.6%	2.7%	
総還元性向	—	60.1%	61.0%	

注: 自己資本 = 純資産 - 非支配株主持分
 ROA = 純利益/総資産 (期首・期末平均)
 ROE = 純利益/自己資本 (期首・期末平均)
 BS関連数値は各期末時点の数値
 営業キャッシュ・フロー = 純利益 + 減価償却 (長期前払費用償却含む)
 総還元性向 = [N年度の配当 + (N+1)年度の自社株取得] / N年度の連結純利益

■ WACC算定諸元(2021年度見通し)
 a) 有利子負債コスト 実績金利0.71%(税引後)
 b) 株主資本コスト率
 c) リスクフリーレート 10年国債利回 0.02%
 d) マーケットリスクプレミアム 5.5% β値 0.75

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

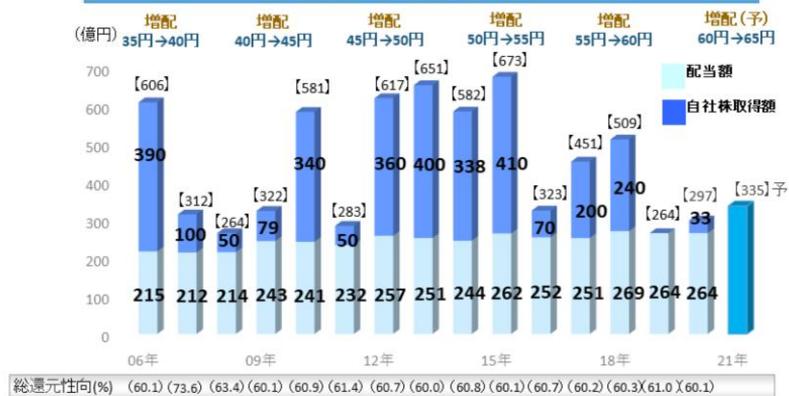
連結ベースの主要計数を掲載しております。

期末配当金の予想の修正について

19

- 当社は、株主還元方針において、配当及び消却を前提とした自社株取得を株主還元として位置付け、総還元性向(連結当期純利益に対する配当と自社株取得の割合)の目標を、2022年度に至るまで各年度5割程度としております。
- 今般、収支見通し等を勘案し、2022年3月期の期末配当金の予想について、5円増額の35円(年間では、第2四半期末の配当金30円を含め65円)に修正いたします。

総還元額、配当額の推移



総還元性向(%) (60.1)(73.6)(63.4)(60.1)(60.9)(61.4)(60.7)(60.0)(60.8)(60.1)(60.7)(60.2)(60.3)(61.0)(60.1)

・2017年10月1日に単元株式数を1,000株から100株に変更すると共に、株式について5株を1株にする併合を実施
 ・配当額について、全て株式併合後に換算して表示

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

期末配当金の予想について、5円増額し、年間で65円に修正致します。

今回の見通しと現時点の株数を踏まえ、総還元額は335億円、5円増配した場合の配当総額は288億円、総還元性向5割に基づく自社株取得額は47億円と見通しております。



参考資料として経済フレーム感度表に加え、原油価格・為替レート、本年度の本日までの主なプレスリリース、主な海外投資案件等を掲載しておりますので、ご参照ください。

原油価格JCCが\$1/bbl上昇する場合

		収支影響時期		(単位: 億円)
		第3四半期	第4四半期	年度計
変 動 時 期	第3四半期	▲1	▲9	▲10
	第4四半期	0	0	0
	通期	▲1	▲9	▲10

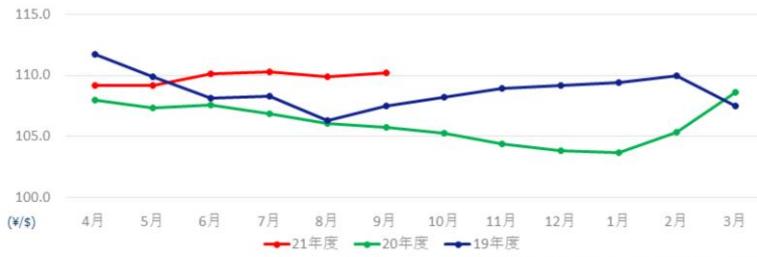
円ドルレートが¥1/\$円安になる場合

		収支影響時期		(単位: 億円)
		第3四半期	第4四半期	年度計
変 動 時 期	第3四半期	▲6	6	0
	第4四半期	0	▲9	▲9
	通期	▲6	▲3	▲9

原油価格 (JCC)



為替レート



2021年度 主なトピックス (10月28日まで、プレスリリース等より抜粋)

23

全般 (ESG含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定款一部変更に関するお知らせ(4/28) ・ 会社分割 (吸収分割) に関するお知らせ(4/28) ・ 会社分割(簡易吸収分割)に関するお知らせ (5/19) ・ 株式報酬制度の導入に関するお知らせ (6/29) ・ 株式報酬制度における株式取得に関する事項の決定に関するお知らせ(7/28) ・ 株式報酬制度の導入に伴う第三者割当による自己株式の処分に関するお知らせ(7/28)
ガス・電力 (ESG含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 茨城県鹿嶋市で再生可能エネルギー発電事業の推進について(4/5) ・ 日本沿岸上風力発電の早期実現に向けた九州大学等との産学共同研究への参画について(4/19) ・ 東京ガスとNITエネ日本の協業による道徳風力発電事業 - 福井工科大学との共同受付の開始について(4/26) ・ 徳島電気料金メニュー「基本プラン」の検証について (5/13) ・ 実質再生可能エネルギー100%の電気料金プラン「さすてな電気」を新たに開始 (6/3) ・ 日本初となるカーボンニュートラル都市ガスプランの第三者検証報告書の受領について(6/15) ・ KAWASAKI DELTA 「サステイナブルなまちづくり」の実現 (6/25) ・ 山口県徳山市におけるメカリーターの高度運転開始について (7/1) ・ 東京2020大会 選手村へのカーボンニュートラル都市ガスの供給(7/13) ・ 「7都府県ライドパワー株式会社」の設立について(7/13) ・ 家庭向けデマンドレスポンスの実証開始について(7/20) ・ 新築マンション共同向けに「実証再生可能エネルギー」の提供を開始 (9/13) ・ 日本沿岸上風力発電の早期実現に向けた産学共同研究を加速 (9/30) ・ 株式会社東京ガス機油質/パワーの株式譲渡および取得について (9/30) ・ 国内最大規模となるカーボンニュートラル都市ガス導入 (10/18) ・ 坂出ハイオマス発電事業の共同実施に関するお知らせ(10/22)
サービス (ESG含む)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ エンジニアリングソリューション <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京ガス野村不動産エナジー株式会社設立について(4/5) ・ 宮城県仙台市 ハイオマス帯焼火力発電所におけるオーナー主導業務および運転管理業務の委託契約締結について(4/7) *1 ・ 太陽光発電アセットマネジメント業務の高度化を促す実証事業の実施について(4/26) *1 ・ 家庭用燃料電池「エネファーム」および家庭用蓄電池の制御によるV2Vチャージ/パワープラント実証の開始について(6/8) ・ Honda熊本製作所における3,800kWの自家消費型太陽光発電事業運転開始について(10/4) *1 ・ タイPITグループとの合併会社設立について (10/5) *1 ◆ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 賃貸管理サポートサービス「まもROOM」の提供を開始(4/8) ・ 「東京ガスのハウスクリーニング」を開始 (5/11) ・ 太陽光発電と蓄電池で停電対策「あんしんWでんち」を開始 (5/27) ・ 倉倉住宅向けEVI充電サービスの導入に向けたEVI充電株式会社との資本業務提携について (6/28) ・ 国内トップシェアのソフトウェア事業の譲受について日本たばこ産業グループと基本合意 (7/8) <p style="text-align: right;">*1 東京ガスエンジニアリングソリューションズによるリリース</p>
海外(ESG含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・ メキシコMT Falcon発電事業の特分売却の合意について(9/16)
脱炭素化 技術開発 (ESG含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京ガスとSCREEN、低コストグリーン水素製造に向けた水電解用セルスタックの共同開発に合意 (5/26) ・ 世界初！都市ガス機油利用時の排ガスを利用した「CO2吸収型コンクリート」製造を開始 (7/7) ・ メタネーション実証試験を2021年度内に開始(7/7) ・ マグワット級水電解装置を利用した水素実証実験の実施について (7/7) ・ お客さま先でのCO2資源化技術の開発について(9/28) ・ バイオリアクターによるメタネーションの技術実証に向けた産学共同研究の開始について(10/13)

2021年度 主なトピックス (10月28日まで、プレスリリース等より抜粋)

24

ESG	<ul style="list-style-type: none">・2021年 新型コロナウイルス感染拡大に伴うお客さまに対するガスならびに電気料金の特別措置の追加対応について (4/23、5/12、6/14、7/15、8/23、9/16、10/21)・「東京ガスグループ サステナビリティレポート2021」の発行について (8/31)
財務・株主還元	<ul style="list-style-type: none">・自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ(4/28)、自己株式の取得完了 (5/19)、自己株式の消却 (7/28)・第67回、第68回、第69回、第70回無償増資株式発行のお知らせ (7/7)・株主還元方針の変更に関するお知らせ(9/29)・2022年3月期 (第222期) 配当予想の修正に関するお知らせ(10/28)



地域	番号	国名	案件名称	投資分野/投資内容	参加年	
北米	1	米国	イーグルフォード	上流	シェールガス	2016
			TGナチュラリソース	上流	シェールガス	2017
			TGSアメリカ	中下流	エネルギーサービス	2015
			パースポロー	中下流	天然ガス発電	2017
			アクティナ	中下流	太陽光発電	2020
	2	メキシコ	アカリオベンチャーズ	その他	オープンイノベーション	2017
			パヒオ	中下流	天然ガス発電	2004
			MTファルコン	中下流	天然ガス発電	2010
			エオリオス・エンデーバー	中下流	再生可能エネルギー開発事業 (太陽光・風力)	2019
			3	マレーシア	ガスマレーシア	下流
東南アジア	3	マレーシア	ガスマレーシアエネルギーアドバンス	中下流	エネルギーサービス	2014
			パシホー	中下流	天然ガス発電	2016
	4	タイ	カルプ・ダブルエイチエー・エムティー	中下流	ガス配給	2018
	5	タイ	ワン・バンコク	中下流	地域冷房・配電事業	2020
			ベトロベトナムガス販売	中下流	管轄・CNG供給	2017
	5	ベトナム	ベトロベトナムガス販売	中下流	管轄・CNG供給	2017
	6	インドネシア	パンシ・ラヤ・アラミンド	中下流	ガス配給・輸送	2017
6	インドネシア	スーバー・エナジー	中下流	ガス配給・輸送	2020	
7	フィリピン	FGEN LNG	下流	LNG基地建設、運営、メンテナンス	2020	
オセアニア	8	オーストラリア	ダーウィン	上流	天然ガス生産・液化・販売	2003
			ブルート	上流	天然ガス生産・液化・販売	2008
			ゴーゴン	上流	天然ガス生産・液化・販売	2009
			クイーンズランド・カーティス	上流	天然ガス生産・液化・販売	2011
			イクシス	上流	天然ガス生産・液化・販売	2012



<見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、日本経済の動向、原油価格の動向、気温の変動、円ドルの為替レート変動、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガスの対応等があります。